

令和7年度大学コンソーシアムやまがた企画会議（第1回）議事要旨

日 時 令和7年5月13日（火） 13時30分～14時15分
場 所 山形大学法人本部第2会議室 ZoomによるWEB会議
出席者 東北芸術工科大学 : 柳川 郁生 副委員長／教授
東北公益文科大学 : 白田 裕司 教務学生課長
東北文教大学短期大学部 : 佐久間美智雄 教授
東北農林専門職大学 : 齊藤 邦行 教授
山形県立産業技術短期大学校 : 松田 典子 事務局次長兼総務課長
山形大学 : 栗山 恭直 委員長／教授
〃 : 下平 裕之 教授
〃 : 柿崎 慎也 准教授
欠席者 鶴岡工業高等専門学校 : 南 淳 教授
東北公益文科大学 : 山本 裕樹 教授
陪席者 山形大学 : 樋口 浩朗 総務部長付上席専門員兼
総務部総務課社会共創推進事務室長
〃 : 石澤慎太郎 総務部総務課社会共創推進事務室係長
事務局 : 舟橋 信治 事務局長

議事

【報告事項】

- 1 令和6年度 事業報告書について
(令和7年3月10日第4回幹事会承認)
事務局から、資料1に基づき、令和6年度の事業報告に係る企画会議の担当箇所について、説明があった。
- 2 令和7年度事業計画（案）について
(令和7年3月10日第4回幹事会承認)
事務局から、資料2に基づき、令和7年度の事業計画に係る企画会議の担当箇所について、説明があった。
- 3 令和7年度収支予算書（案）について
(令和7年3月10日第4回幹事会承認)
事務局から、資料3に基づき、令和7年度の収支予算に係る企画会議の担当箇所について、説明があった。

【協議事項】

- 1 令和7年度における企画会議担当事業について
(1) 共同教育事業

事務局から、資料2に基づき、山形を知るため座学とフィールドワークを連動させたものや、既に各教育機関にあるものを他の教育機関に開放する等、昨年度は教育プログラムのニーズ調査を行ったので、今年度は地域課題の解決に貢献し得る教育プログラムの構築を本会議で検討したい旨、説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり（◎…質問・意見、○…回答）。

- ◎ データサイエンス科目の教材利用については先行している山形大学のものを活用して進めたほうが良いのではないかと。
- ◎ 共同教育事業の10万円の内容について伺いたい。
- 高畠町との地域課題解決連携プロジェクトについて、山形大学戦略会議と情報共有を図りながら事業の実施を進めていきたい。

（2）学生による地域貢献・活性化プロジェクト

事務局から、本件については、従来から実施している事業である。昨年度コンソーシアムがやまぶらの高等教育連携部門に位置付けられたことから、資料4-1における地域という定義を「山形県内地域」とした。また、様式第2号について、目的を「やまぶら」の初期戦略の5つのテーマから、連携先を県内の団体等から選択することとしている。これにより、自治体、経済界との協働が期待される。令和7年度の実施スケジュールは、資料4-2のとおりとしたい旨説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり（◎…質問・意見、○…回答）。

- 本プロジェクトの広報の周知について多くの申請を募りたく、各機関において広く周知活動にご協力願いたい。
- ◎ 申請書のwebサイトによる入力方法について、簡素化の観点から長期的にwebサイト入力方式を検討願いたい。
- 入力方法について、今後検討していきたい。

（3）「やまぶら」初期戦略に貢献する事業

事務局から、令和6年度からの新規事業で、学生による地域貢献・活性化プロジェクトの教員版として実施した。やまぶらの5つの初期戦略に貢献する教員及び連携プロジェクトを支援したい旨、資料5に基づき説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり（◎…質問・意見、○…回答）。

- ◎ 2件辞退した旨伺ったが、理由はあるのか。
- 他にファンドとの資金の重複制限によるものだった。
- ◎ 連続しての申請は構わないか。
- 構わないが、多くの申請をお願いしたい。

（4）「やまがた夜話」

事務局から、資料2に基づき、各大学等において講義に相応しいテーマがあればお知らせ願いたい旨説明があった。

なお、テーマの案として、最上義光公の大河ドラマ化への動きがあるので題材とすることや、ダイバーシティの女性の活躍等を取り上げること等を模索している旨、説明があった。

引き続き、委員長から、開催については、ゆうキャンパスでは無く、各大学等でも可能とし、ZOOM で見えていただくこともできる。

また、各大学等で実施をする公開講座を夜話として共同で開催することもできるので、検討願いたい旨、付言があった。

(5) 遊学館との協働事業

事務局から、資料2に基づき、実施事業について説明があった。

なお、佐久間委員から、東北文教大学の取組みについて、次のとおり報告があった。

- ・ 東北文教大学の児童文化部部員 15 名が今年3月に人形劇を行い、また、毎月最終日曜日に毎回部員2名ずつが読み聞かせを実施した。

次いで、委員長から、「ゆうキャンパス・ステーション」については、施設を無料で構成員に貸し出しが可能であるため、是非積極的に使用願いたい旨、説明があった。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

2 その他

- ・ 「やまがた進学大交流フェスタ」の開催について

事務局から、本件については、昨年度から、県内高等教育機関による合同説明会だけでなく地元で働く卒業生との交流の機会を持ち、県内高等教育機関に進学した後も、県内企業に安定的な就職が可能なことを高校生及び保護者に説明することを目的に実施している。昨年度は、新庄の東北農林専門職大学の協力をいただき、各大学等がブースを設ける等実施した。今年度は東北公益文科大学の協力をいただき開催できればと考えている旨、説明があった。

次いで、白田委員から、案が決まったら早急に相談願いたい旨回答があった。

【配付資料】

	令和7年度 大学コンソーシアムやまがた 企画会議委員名簿
資料1	令和6年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書（案）
資料2	大学コンソーシアムやまがた 令和7年度事業計画書（案）
資料3	令和6年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）
資料4-1	「やまぷら」学生による地域貢献・活性化プロジェクト支援助成金交付要綱（案）
資料4-2	同 スケジュール（案）
資料5	「やまぷら」初期戦略プロジェクト支援助成金交付要綱（案）
追加資料	「やまがた進学大交流フェスタ」アンケート結果